

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第108号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年5月25日 14時30分ごろ	
発生場所	福岡県 苅田港宇部興産第3棧橋 (概位 北緯33°46.75' 東経131°00.05')	
事故等調査の経過	平成21年7月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第六十三 ^{こうえい} 幸栄丸、748トン	
船舶番号、船舶所有者等	134546、株式会社村瀬海運	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	後部船底外板の凹損、ビルジキール及びプロペラの曲損	
事故等の経過	本船は、管理土約2,000トンを満載し、苅田港宇部興産第3棧橋に左舷付けで着棧し荷役中、平成21年5月25日14時30分ごろ、船長は、左傾斜したので、船尾が接触したと思い、船尾を右に振ろうと、係船索を放し、舵及び機関を使用した ^が 浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約5m/s 海象：潮汐 大潮の低潮時、潮位 ゼロ	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、着棧する前に潮汐及び水深の調査を行わなかった可能性があると考えられる。 当時の本船の喫水は約5mであったものと考えられるが、海図記載の水深は5.5mである。
原因	本事故は、苅田港において、本船が着棧して荷役中、着棧する前に潮汐及び水深の調査を行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	